

2019年度下半期 (2019年10月～2020年3月)

10
月

機械

日本中央競馬会栗東トレーニング・センター内、
バイオマスプラント向けに「スクリー式発電機」と
「バイナリー発電機」を納入

当社は、日本中央競馬会栗東トレーニング・センター内にあるバイオマスプラント向けに、スクリー式発電機*1とバイナリー発電機*2を納入しました。本プラントでは、トレーニング・センター内で発生する使用済み馬房敷料を燃料とし、最大620kWを発電し、

バイオマス発電としては小型ながら、大型並みの高効率性を実現しています。当社は、今後も技術・製品・サービスの提供を通し、エネルギーの有効活用によるCO₂排出削減に貢献してまいります。



設置されたスクリー式発電機とバイナリー発電機

※1スクリー式発電機:蒸気でタービンを回転させて発電する小型蒸気発電機。当社の得意とするスクリー式の技術を元に、世界最高水準の効率を達成しています。
※2バイナリー発電機:未利用エネルギーの中でも温度の低い温水や産業排熱などを熱源に、沸点の低い媒体を加熱・蒸発させて、その蒸気でタービンを回転させて発電するシステムで、スクリー式発電機の後工程に設置する事で、高効率な発電を実現できます。

11
月12
月2020
年1
月

電力

(株)コベルコパワー真岡 真岡発電所2号機の営業運転開始

当社の100%子会社である(株)コベルコパワー真岡は、真岡発電所2号機の営業運転を開始しました。2019年10月に1号機の営業運転を開始しており、発電規模124.8万kWとなる本発電所の本格的な操業が始まりました。本発電所は、東京ガス(株)から都市ガスの供給を受け、最新鋭の発電方式による国内最高レベルの効率で発電を行ないます。また、津波に遭う危険がない内陸部に立地するため、リスクの分散効果が期待されます。これにより、内閣官房と経済産業省による国土やエネルギー基盤の強靭化に資する事例に選定されました。



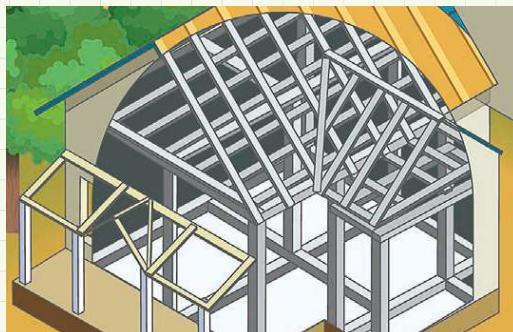
真岡発電所

2
月

鉄鋼

KOBEMAG®建築基準法に適合する大臣認定取得

当社は、この度、高耐食性めっき鋼板「KOBEMAG®」について建築基準法(第37条第二号)に適合するも



参考図:構造用部材適用部位

のとして国土交通大臣の認定を取得しました。当社はKOBEMAG®のブランドで、太陽光発電架台、土木建築部材を中心に電機関連へも受注を拡大させてまいりました。この度の大臣認定取得により、KOBEMAG®は住宅メーカー様・建築部材メーカー様などに、建築構造部材用途はもとより幅広い用途で採用いただける素材となりました。当社は早期の自社一貫生産を目指し、大臣認定取得を機に更なる受注拡大を図ります。

※KOBEMAG®:[KOBEMAG Magnesium Aluminum Galvanized Steel]の略で、高い耐食性能を有した合金めっき鋼板。優れた耐食性、耐疵付着性、加工性を有し、構造用から建築、電機、自動車分野など広く適用いただける鋼板です。

3
月